

# G 8 環境大臣会合（神戸）における 千葉産木質プラスチック製品の配布について

平成 20 年 5 月 23 日

千葉県環境生活部資源循環推進課

バイオマスプロジェクトチーム

電話 043 - 223 - 2759

G 8 サミット（7 月 7 ～ 9 日 北海道洞爺湖）に向けた G 8 環境大臣会合が下記のとおり神戸市で開催されます。

同会合の開催に当たって、環境省が進める環境配慮の一環として、本年 3 月に千葉で開催された G 20 対話と同様、参加者閣僚等の筆記具として千葉産のバイオマスプラスチックボールペンが配布されることとなりましたのでお知らせします。

## 1 配布される千葉産木質プラスチック製品

千葉県の地域資源であるサンプスギを主原料とする千葉産木質プラスチック製のバイオマスプラスチックボールペン（G 20 で配布したものと同様）が 500 セット配布（プレス用 200 セットを含む）される。この製品は、本県が主催する産学官が連携した「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」に参画している企業が製品化しているものである。

なお、同木質プラスチックは、石油由来プラスチックと比較して CO<sub>2</sub> の排出量を半減することが確認されている。

## 2 G 8 環境大臣会合の概要

- (1) 日程 平成 20 年 5 月 24（土）～ 26 日（月）
- (2) 会場 兵庫県神戸市 「神戸ポートピアホテル」ほか
- (3) 主催 環境省
- (4) 議題 気候変動、生物多様性、3 R（Reduce、Reuse、Recycle）
- (5) 参加 G 8 各国の環境担当大臣。また、G 8 以外のアウトリーチ国の環境担当大臣及び関係国際機関の代表も参加
- (6) 会合の環境配慮

G 8 環境大臣会合における環境配慮型製品の利用として、千葉県産の「バイオマスプラスチックボールペン」が配布される。別紙（環境省発表資料）参照。

(参考)

## 1 配布されるボールペンセットの仕様

### (1) ボールペンの仕様

原材料：千葉県の地域資源であるサンプスギを主原料(樹皮、端材)とする  
千葉産木質プラスチック(原料の60～70%にサンプスギを使用)

名入れ：ちび Bio-plastic ballpoint (白色)

色区分：2色ボールペン

黒芯(こげ茶色の軸が樹皮製) 赤芯(茶色の軸が端材製)

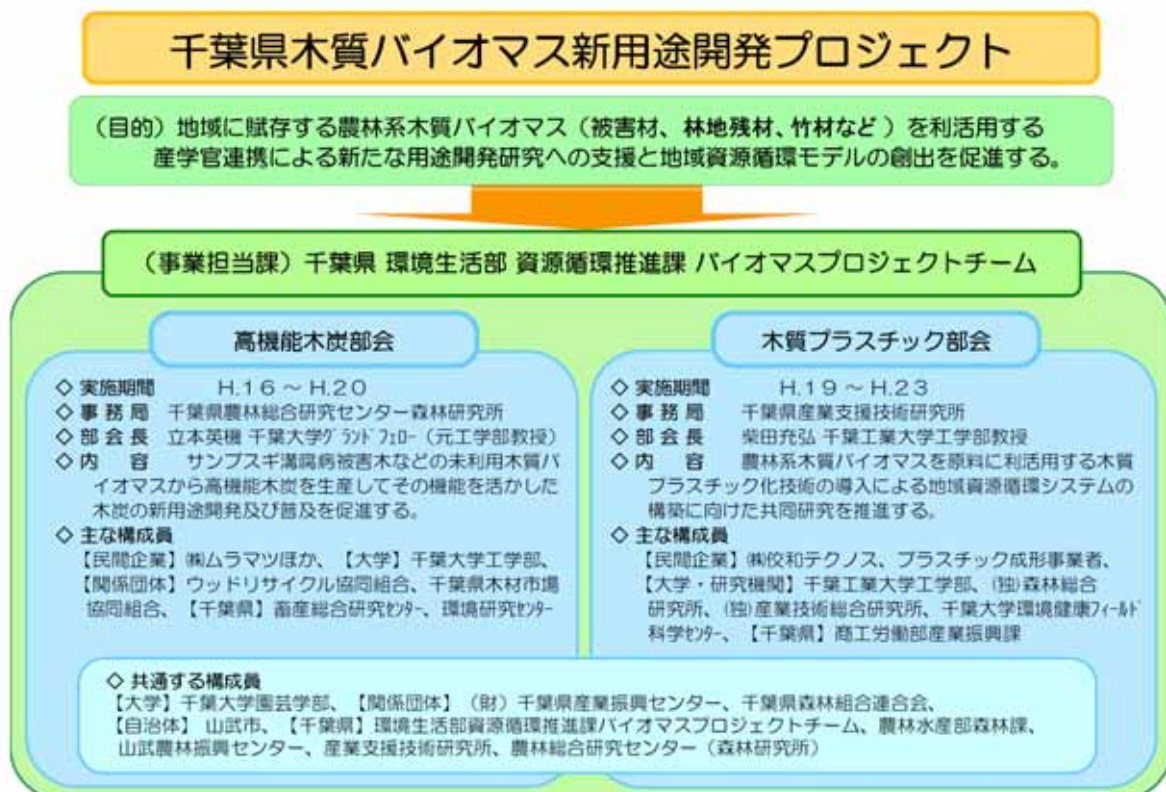
包装：箸袋風のふで袋を作成(国産材紙を使用)

### (2) ふで袋仕様

三つ折箸袋タイプで、環境配慮から国産材紙(間伐材等使用)を使用。両面に印刷を施すことで、ふで袋を広げると説明書となる、包装紙と資料を兼ねたものとしている。

## 2 千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト

本県では、平成16年度に設立した「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」に木質プラスチック部会を設置(平成19年度)し、山武市で展開される木質プラスチック事業を中核とした産学官連携による共同研究を進めており、地域資源である木質バイオマス(林地残材、被害材、竹材、せん定枝等)を主原料とする「千葉県産木質プラスチック」の製品開発や普及啓発活動などに取り組んでいる。



## 3 千葉県が推進するバイオマス施策(関連情報、製品)の紹介

千葉県庁HP: [http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/e\\_ichihai/bio/biotop.htm](http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/e_ichihai/bio/biotop.htm)

# G 8 環境大臣会合における環境配慮について

平成 2 0 年 5 月  
環 境 省

5 月 2 4 日 ~ 2 6 日に兵庫県神戸市において G 8 環境大臣会合を開催するに当たり、会合そのものを可能な限り環境に配慮したものとするため、地元自治体（兵庫県、神戸市）及び会場（神戸ポートピアホテル等）関係企業等の協力を得つつ以下の取組を進めます。

## 1 . 低公害車及びバイオ燃料の利用

- ・ 各国の大臣をはじめとする会合参加者の空港等の送迎には、自動車メーカー等の協力を得つつ最新型の低公害車（燃料電池自動車、水素自動車、ハイブリット自動車、その他最新燃費、最新排ガス規制適合車）を導入します。
- ・ また、燃料として、環境省委託により大阪府が実施している「エコ燃料実用化地域システム実証事業」において利用が推進されているバイオエタノール 3 % 混合ガソリン（E 3）を利用することにより、CO<sub>2</sub> 低減を進めます。
- ・ この他、会合周辺のサイドイベントにおいて地元自治体が提供するシャトルバス（天然ガス車）には、神戸市が推進する「こうべバイオガス」を燃料として利用します。

### < 参 考 >

燃料電池自動車、水素自動車は、水素をエネルギー源とし走行過程において CO<sub>2</sub> を一切排出しない次世代自動車で、通常車両を利用する場合と比べ、関西国際空港・神戸間（片道、約 7 3 k m）で、1 台につき約 1 5 k g の CO<sub>2</sub> が削減できます。

E 3 は、食糧と競合しない建設廃木材を原料とするバイオエタノールを 3 % 混合したガソリンであり、バイオエタノール混合分の CO<sub>2</sub> 排出を削減できます。

「こうべバイオガス」は、下水処理の過程で発生する消化ガスのメタン濃度を 98 % まで上げ、都市ガスとほぼ同等の品質で天然ガス自動車燃料として活用できるバイオ燃料です。

## 2 . 自然エネルギーの活用

- ・ カーボン・オフセットの取組の一環として、会合に伴って使用する電気の量に相当するグリーン電力証書を購入することにより、自然エネルギーの活用を図ります。（下記 6 . 参照）
- ・ 北海道洞爺湖サミットでも活用が予定されている雪氷冷房装置<sup>（注）</sup>を使用します。  
（注）北海道内の高校生が製作した簡易雪氷冷房装置をメディアセンターに設置し、実際に使用する予定です。

## 3 . 省エネルギー対策

- ・ 会場及び会合参加者の宿泊先である神戸ポートピアホテルで利用される熱（給湯等）については、コージェネレーション（熱電併給）システムが採用されており、大幅な省エネルギー・CO<sub>2</sub> の削減が実現されています。
- ・ 参加者にノーネクタイ・ノージャケット等服装による調節を求めながら、会場及び客室等における過度な空調を抑制します。照明についてもこまめな消灯に努めます。

- ・ 参加者に提供する食事にはできるだけ地元食材を使用する「地産地消」の取組により、食材輸送に係るエネルギーの削減に努めます。

#### 4. 廃棄物の削減

- ・ 会合全体を通じてゴミの分別、3Rの推進により廃棄物の削減に努めます。
- ・ 会合参加者及びスタッフの食事に関しては、使い捨ての皿やカップは使用しないこととし、箸やおしぼりについても使い捨てでないものを使用します。
- ・ 会議中の飲料水の提供に当たっては、ペットボトルでなく、水差しを利用します。

#### 5. 環境配慮型製品の利用

- ・ 会合参加者（報道関係者を含む）に提供されるコーヒーは、生物多様性保全と生産者である小規模農家の生活向上に貢献するコーヒー豆<sup>(注)</sup>を利用します。
- ・ **また、会合参加者が使用する筆記具として、3月に開催されたグレンイーグルズ対話においても使用された千葉県産の「バイオマスプラスチックボールペン」(間伐材等を原料とした木質プラスチック製品)を配布します。**
- ・ その他、会合で使用する備品・消耗品については、グリーン購入法適合製品など、可能な限り環境に配慮した製品を使用します。

(注) コーヒーは、豊かな森林生態系を利用する日陰栽培農法が可能な作物であり、適格な土地利用や環境に配慮した農法の導入により、生物多様性保全に貢献しながら、生産者の収入を生み出すことができる。今回提供されるのは、中米最大の雲霧林「ラ・アミスタッド保護区」(パナマ)周辺で国際環境 NGO・コンサベーション・インターナショナルが実施する、生物多様性保全と生産農家の生活向上を目指すプロジェクトに参加している小規模農園のコーヒーであり、神戸に本社のある UCC 上島珈琲株式会社がプロジェクトの趣旨に賛同し輸入したもの。

#### 6. 会合参加者への呼びかけ等

- ・ 各国の代表、報道関係者等すべての会合参加者に対し、会合前及び会合期間中を通して、適正な空調、こまめな消灯、ごみの分別回収、マイカップ等の持参、公共交通機関の利用など環境配慮の取組への協力を呼びかけます。
- ・ また、会合開催における環境配慮の取組について紹介する資料(パネル等)を会場に掲示しPRを図ります。

#### 7. その他会場における環境配慮の取組

神戸ポートピアホテルは、今回の環境大臣会合開催を契機に、神戸市が進める地域版環境マネジメントシステムである KEMS (神戸環境マネジメントシステム) をホテルとしては初めて取得し、「株式会社神戸ポートピアホテル環境宣言」を締結するなど独自の取組を進めています。

#### 8. カーボン・オフセットの実施

上記の取組により会合開催に伴う温室効果ガスの低減に努めるとともに、それでもなお排出される温室効果ガスについては、それに相当する削減対策等により埋め合わせる「カーボン・オフセット」を実施します。(詳細は別紙のとおり。)

## カーボン・オフセット実施に係る詳細について

(1) 予想される温室効果ガス排出量(推計値):

最終的な参加人数等により変動するものの、概ね600トン程度と見積っている。(精査中)

(2) 埋め合わせの方法(案):

想定しうる様々な手法を組み合わせることで埋め合わせを行うことにより、今後のオフセット定着に向けた先例とすることを旨とする。

グリーン電力証書の購入

会場(神戸ポートピアホテル)の使用電力量に相当するグリーン電力証書を購入することにより、排出されるCO<sub>2</sub>の一部を埋め合わせる。

開催地域(兵庫県、神戸市)の取組による埋め合わせ

- 新規に設置される地域温暖化防止施策の導入(風力・太陽光等の自然エネルギー施設整備導入など)
- 会合期間中(5月24~26日)のノーカーデー実施のほか、地域における会合に関連した様々な取組による埋め合わせを検討。

CDMクレジット等による埋め合わせ

上記、による埋め合わせを行った後、さらに相殺が必要な排出分について、CDMクレジットの購入等による埋め合わせを行う。

(3) カーボン・オフセットに係る情報の公開

削減対策の内容、排出量算定方法の詳細及び埋め合わせの方法等に関する情報は、環境省ウェブサイトへの掲載のほか、カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)が実施する公開講座等の機会を活用し、公開する。